

ふどうさんかんていし 28 不動産鑑定士

土地や建物を売りたい、交換したい、お金を借りる担保にしたい。こんな場合には不動産の正確な価値を知る必要があります。土地や建物の鑑定をして、不動産鑑定評価書を作成することができるのが不動産鑑定士です。

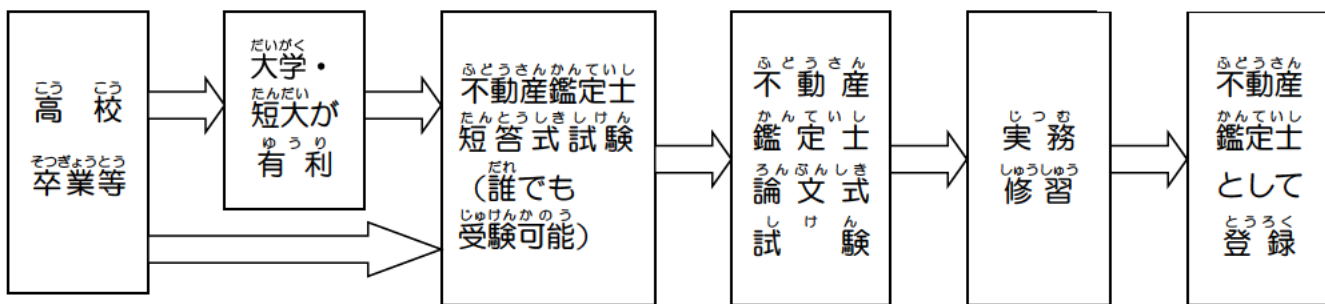
外国人住民の中には定住される人が増えており、住宅を購入される人も増えています。

そこで、外国語ができる不動産鑑定士がいれば外国人住民にとって心強い存在となります。

個人や企業の土地活用の相談にのったり、街の再開発や区画整理など、公共プロジェクトに参加することもあります。



ふどうさんかんていし 不動産鑑定士になるには



<早くから準備しましょう>

この仕事に就くには国家試験である不動産鑑定士の資格を取得することが必要です。資格を取得するためには試験に合格する必要がありますが、司法試験、公認会計士試験と並んで難易度が高く（平成26年合格率11.3%）、全国でも約7,000人しかいないため、貴重な存在になります。法律など高い日本語能力や学力が求められます。

<資格を取れば どのくらいに就職できるの？>

不動産鑑定士として、一般企業に勤務し鑑定業務を行うことができ、信託銀行、開発会社、生命保険会社、損害保険会社などで活用できます。独立して、不動産鑑定事務所を開業することもできます。

給与は勤務先によって違いますが、平均年収約900万円で、個人事務所など実力によっては、1000万円以上の年収の人も多くいます。



<費用（学費）はどれくらい？>

国立大学で240万円以上（4年間）、私立大学では400万円以上（4年間）かかります。不動産鑑定士には法律の知識も必要となるので、法律系の大学を選ぶと有利です。